

講演者等略歴・紹介

- **中嶋 嶺雄**（国際教養大学・学長）
長野県松本市生まれ。東京外国語大学中国科卒業。東京大大学院社会学研究科修了、社会学博士。専門は国際社会学。東京外国語大学長などを経て、2004年より国際教養大学の開学とともに学長に就任。中央教育審議会委員、教育再生会議委員、アジア太平洋大学交流機構国際事務総長などを歴任。著書は『現代中国論』『中ソ対立と現代』『北京烈烈』（サントリー学芸賞受賞）『国際関係論』『中国・台湾・香港』など多数。
- **姫田 麻利子**（大東文化大学・准教授）
上智大学大学院文学研究科博士課程（フランス文学専攻）退学。博士（外国語教育学・パリ第3大学）。大東文化大学外国語学部英語学科ヨーロッパ2言語コース英仏系科目、全学フランス語科目を担当。日本人大学生の外国・外国語イメージ調査をしながら、それらを異文化間能力や複言語・複文化能力として位置づける方法を研究しています。
- **浅川 照夫**（東北大学高等教育開発推進センター 語学教育室（英語）・教授、教養教育院・教養教育特任教員）
1950年生まれ。1976年東京教育大学大学院文学研究科修了。文学修士、博士（情報科学）。東北大学教養部および情報科学・国際文化研究科を経て、現在、高等教育開発推進センター全学教育推進部教授。専門分野は英語学・英語教育。東北大学における英語教育の現状と課題の分析に取り組んでいる。
- **Ben SHEARON**（東北大学高等教育開発推進センター 語学教育室（英語）・講師）
ドイツ生まれ・スペイン育ち・英国籍。ケンブリッジ大学大学院修士課程（国際政治）修了。2000年来日。仙台市立小・中・高等学校の英語講師、宮城県教育委員会高等教育課英語教育アドバイザーを経て、現在東北大学高等教育開発推進センター講師。研究分野は外国語教育・多読法・日本の英語教育・自習サポート等。
- **杉浦 謙介**（東北大学国際文化研究科 国際文化言語論専攻・ドイツ語・教授、教養教育院・教養教育特任教員）
1957年大阪生まれ。早稲田大学大学院文学研究科博士課程（ドイツ文学専攻）退学。博士（学術）（東北大学）。1990年東北大学教養部講師。現在、東北大学大学院国際文化研究科教授。外国語教育用のeラーニングシステム・教材・教授法の開発・研究をしています。e-Learning教育学会理事・事務局長。
- **古石 篤子**（慶應義塾大学総合政策学部・教授、兼政策・メディア研究科委員）
国際基督教大学教養学部人文科学科卒業後、パリ第3大学大学院修士課程、東京大学大学院人文科学研究科仏語仏文学専門課程修士・博士課程修了。パリ第8大学大学院博士課程修了。言語学博士。日本フランス語教育学会会長（2012年6月～）。専門は言語教育政策論、外国語教育学、第二言語習得論など。主な編著書・論文に「もっと豊かな言語教育を」『英語教育の新時代』（大津由紀雄編著）慶應大学出版会、「SFC外国語教育の変遷」『外国語教育のり・デザインー慶應 SFCの現場から』（平高史也・古石篤子・山本純一編）、慶應義塾大学出版会などがある。
- **志柿 光浩**（東北大学国際文化研究科 国際文化言語論専攻・教授、教養教育院・教養教育特任教員）
アメリカ地域研究の一環としてのプエルトリコ人コミュニティの調査研究と併行して、プエルトリコ大学、長崎大学で日本語教育、常葉学園大学外国語学部でスペイン語教育に従事した後、現職。全学教育スペイン語と大学院言語教育学を担当。平成22年度東北大学総長教育賞をスペイン語教科部会として受賞。
- **姜 麗萍**（北京語言大学 中国語研修学院・教授）
中国語教育論、教授法、教材開発などでは中国の代表的な研究者の一人である。著書『中国語教育論』北京言語大学出版社 2008年6月など多数。中国国家中国語教育事務室、北京言語大学の派遣により、アメリカ、日本、タイ、ホンコン、マカオなどで中国語教育論に関する講座を多数実施している。
- **張 立波**（東北大学高等教育開発推進センター 語学教育室（中国語）講師）
2000年から東北文化学園大学、宮城女子大学、宮城教育大学などの中国語非常勤講師を経て、2007年4月に現職に至る。
- **李 郁蕙**（東北大学高等教育開発推進センター 語学教育室（中国語）講師）
2000年広島大学大学院教育学研究科博士課程後期修了。母国台湾の大学や立命館大学、九州大学を経て、2010年から現職。専門は日本の植民地文学及び中国語教育。

- **Daniel J. EICHHORST**（東北大学高等教育開発推進センター 語学教育室（英語）・講師）
1958年米国生まれ。ワシントン大学 - Professional Education Certification Language Arts / ESL Grades 7-12。アリゾナ州 Thunderbird School of Global Management 修士課程（国際経営）。1982年来日。約20年間におよぶ中学校高等学校教諭及び担任の経験がある。研究分野は外国語教育・コミュニケーション力向上・多読法等。
- **王 其莉**（東北大学文学研究科・専門研究員、東北芸術工科大学・中国語非常勤講師）
- **花輪 公雄**（東北大学理事（教育・学生支援・教養国際交流担当））
1952年山形県生まれ。東北大学大学院理学研究科修了。理学博士。東北大学理学研究科にて助手、講師、助教授を経て1994年教授。2008年から2010年まで理学研究科長。2012年より現職。専門は海洋物理学、特に大規模大気海洋相互作用の研究。2007年度ノーベル平和賞を受賞したIPCC（気候変動に関する政府間パネル）の第1作業グループ、第4次評価報告書の主執筆者として参加。2011年日本海洋学会長に就任。
- **羽田 貴史**（東北大学高等教育開発推進センター 高等教育開発室・教授）
北海道大学大学院教育学研究科博士課程中途退学。福島大学教育学部助教授、広島大学大学教育研究センター教授を経て東北大学高等教育開発推進センター教授・大学教育支援センター長。専門は高等教育論。著書『ファカルティ・ディベロップメントを超えて 日本・アメリカ・カナダ・イギリス・オーストラリアの国際比較』（共編著, 2009）、『学校と大学のガバナンス改革』（共編著, 2009）、『高等教育質保証に関する国際比較』（共編著, 2009）、『大学と社会』（共編著, 2008）、『戦後大学改革』（1999）等。
- **阿部 宏**（東北大学文学研究科 フランス語学フランス文学専攻分野・教授）
1958年山形県生まれ。早稲田大学大学院文学研究科修士課程（フランス文学専攻）修了、学習院大学大学院人文科学研究科博士課程（フランス文学専攻）退学。博士（情報科学）。東北大学教養部に専任講師として赴任した1989年より全学教育フランス語を担当。フランス語学、日仏英対照言語学を研究。日本フランス語フランス文学会・編集委員、日本フランス語学会・編集委員・運営委員・学会誌編集責任者などを歴任。
- **芳賀 満**（東北大学高等教育開発推進センター 人文社会科学教育室・教授）
東京大学大学院人文科学研究科修士課程（美術史学）修了。イタリア政府給費留学生。マクシミリアネウム財団研究員としてミュンヘン大学文学部古典考古学研究室客員研究員。博士（文学）。専門は古代ギリシア・ローマ・オリエント考古学。文化財科学・保存修復を副専攻。アフガニスタンとウズベキスタンの国境をなすアム河右岸のギリシア・クシャンのシルクロード都市カンピール・テパを発掘。高等教育開発推進センター人文社会科学教育室においては、大学の教養課程における「教養世界史」を開発中。ウズベキスタン共和国アカデミー考古学賞受賞。

川内北キャンパス会場案内図



PDP 教育関係共同利用拠点提供プログラム 高等教育論：L-01

外国語教育の指導力を育成する

日時：2012年7月28日（土）～29日（日）

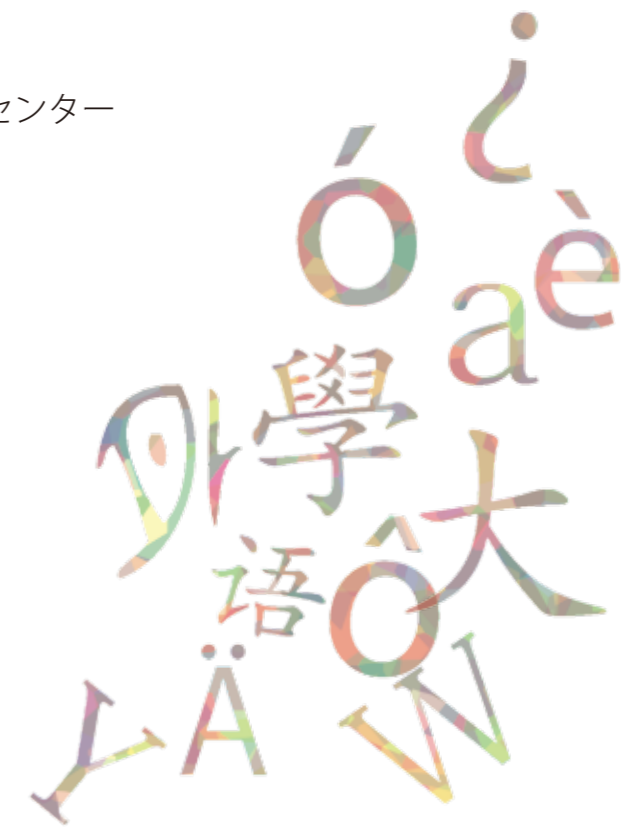
会場：東北大学川内北キャンパス マルチメディア教育研究棟・講義棟A棟

外国語教育は、教養・専門双方の視点から大学教育・大学院教育の柱であり、その充実が大きな課題である。しかしながら日本の語学教育においては、養成（供給）段階における語学教育の専門的訓練がまだ十分ではなく、入職後も持続的に教員の専門性開発活動が必要である。本プログラムは、語学教育の最新の理論と実践を提供するものである。

1日目には外国語教育のあり方に関して、外部の専門家をもお招きし、広く深く考察する。2日目には具体的な方法論のワークショップを開催する。東北大学高等教育開発推進センターが教育関係共同利用拠点事業として行ってきたプログラム開発の成果を活かし、東北大学の語学教育の実践と、全国・外国の専門家も参加し、語学教員の理論と実践を深める機会としたい。



主催：東北大学高等教育開発推進センター



第1日目：シンポジウム「外国語教育の将来—大学の役割」

■ 日時：7月28日（土）13:00～17:00

■ 会場：マルチメディア教育研究棟2階 M206

【プログラム】 総合司会：芳賀 満（東北大学高等教育開発推進センター・教授）

13:00-13:05 開会挨拶：花輪 公雄（東北大学理事（教育・学生支援・教育国際交流担当））

13:05-13:10 趣旨説明：羽田 貴史（東北大学高等教育開発推進センター・教授）

13:10-14:00 基調講演「グローバル化と日本の大学」
中嶋 嶺雄（国際教養大学・学長）

14:00-14:10 質疑応答

14:10-14:20 休憩

14:20-14:50 講演1「CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）と複言語・複文化能力」
姫田 麻利子（大東文化大学・准教授）

14:50-15:20 講演2「学生のニーズから大学外国語教育を考える」
浅川 照夫（東北大学高等教育開発推進センター・教授）

15:25-15:50 講演3「外国語教育の理想と現実」
Ben SHEARON（東北大学高等教育開発推進センター・講師）

15:50-17:00 総合討論 司会：杉浦 謙介（東北大学国際文化研究科・教授）
阿部 宏（東北大学文学研究科・教授）

17:30-19:30 懇親会 会場：bush clover café（川内北キャンパス 厚生会館内）
※大学生協右側（道路沿い）建物の一番手前。中庭側よりお入りいただけます。
会費：3,000円

第2日目：分科会

■ 日時：7月29日（日）9:00～16:00

■ 会場：マルチメディア教育研究棟 M201・M301、講義棟C棟1階 101-103

【タイムスケジュール】 ※講義棟A棟103は、談話室・休憩室（昼食時も利用可）としてご利用いただけます。

	分科会 A. メディアを利用した教育	分科会 B. 語学の指導・養成方法	分科会 C. 初修外国語の教授法— 中国語を中心に（通訳あり）
9:00-12:00	分科会 A-1 「語学の授業」からの脱却： いくつかの提案」 講師：志柿 光浩 （マルチメディア教育研究棟 M301）	分科会 B-1 「多読法の基礎と導入」 講師：Ben SHEARON （講義棟C棟 101 教室）	分科会 C-1 「初修外国語としての中国語の 授業法とテクニック」 講師：姜 麗萍 / 張 立波 / 李 郁蕙 （講義棟C棟 102 教室）
12:00-13:00	昼休み		
13:00-15:00	分科会 A-2 「eラーニングシステムを 活用した外国語教育」 講師：杉浦 謙介 （マルチメディア教育研究棟 M201）	分科会 B-2 「指導法」(仮) 講師：古石 篤子 （講義棟C棟 101 教室）	分科会 C-2 「若手教員による模擬授業」 講師：姜 麗萍 / 張 立波 / 王 其莉 （講義棟C棟 102 教室）
15:10-16:10	分科会 A-3 「eラーニングシステムを 活用した外国語教育 —中国語授業における実践例」 講師：李 郁蕙 （マルチメディア教育研究棟 M201）		

■ 分科会A. メディアを活用した教育

9:00-12:00 分科会 A-1「語学の授業」からの脱却：いくつかの提案」 会場：マルチメディア教育研究棟 M301

今、大学の外国語教育に求められているのは、「文字」と「音声」による「やりとり」(interaction) を当該言語で確実に行う能力を学生諸君が獲得できるようにする豊かな「環境」を提供することです。そのような環境を作り上げて行くための提案を、事例を紹介しながら行います。併せて「語学教師とは何をやる者か」を問い直す機会となることを目指します。

- 提案1：「教室」から「学習空間」へ
- 提案2：「教科書」よ、さようなら
- 提案3：母語話者TAの活用
- 提案4：Writing と Speaking で評価する
- 提案のまとめ：語学教師像の転換

● 講師：志柿 光浩（東北大学大学院国際文化研究科・教授、教養教育院・教養教育特任教員）

13:00-15:00 分科会 A-2「eラーニングシステムを活用した外国語教育」 会場：マルチメディア教育研究棟 M201

eラーニングシステムを活用すると外国語教育の可能性が大きく広がります。その最も簡単で効果的な方法を紹介します。

● 講師：杉浦 謙介（東北大学大学院国際文化研究科・教授、教養教育院・教養教育特任教員）

15:10-16:10 分科会 A-3「eラーニングシステムを活用した外国語教育—中国語授業における実践例」 会場：同上

杉浦先生の指導の下で実践した一例です。WebOCM 及び Hot Potatoes を応用し、自律的学習を促す中国語 CALL 教材の開発成果を紹介します。

● 講師：李 郁蕙（東北大学高等教育開発推進センター・講師）

■ 分科会B. 語学の指導・養成方法

9:00-12:00 分科会 B-1「多読法の基礎と導入」 会場：講義棟C棟 101 教室

多読法を採用すると、学生はより効果的に楽しく言語の取得ができます。本講座の講師は 2008 年から東北大学で多読法プログラムの開発を行なっています。本講座では、多読法の基礎、学生への説明の仕方、および東北大学における多読法の現状を様々な観点から説明いたします。

1. 多読法について
2. 東北大学の多読プログラム
3. 多読体験
4. 東北大学付属図書館の多読環境
5. 学生の声・アンケート結果・フィードバック
6. 東北大学における多読法の将来

● 講師：Ben SHEARON（東北大学高等教育開発推進センター・講師）/Daniel EICHHORST（同・講師）

13:00-16:10 分科会 B-2「指導法（仮）」 会場：同上

21世紀のわが国の大学においては、どのような外国語教育が必要とされるのであろうか。理念、カリキュラム、教授法、評価法、教員養成、等々の観点から、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（SFC）での 20 年間に亘る「壮大な実験」で得た知見を披露し、その問題点を抽出しつつ、ご参加の方々と共に考えてゆきたいと思う。SFC では 1990 年のキャンパス開設以来、「多言語主義・発信型外国語・アジア語重視」の理念に基づき、新しい外国語教育を追求して来た。2000 年以降は「自由化・高度化・多様化」という新しい標語を打ち立て、その ver.2 に移行した。しかしすべてが理想通りに進んできたわけではなく、問題も少なくない。そしてそれを修正すべく、現在は ver.3 を模索中である。「3.11 以降」を生きる若者達のために、真に意味のある外国語教育を創造してゆくのが我々の役目だと考える。

● 講師：古石 篤子（慶應義塾大学・総合政策学部・教授、兼政策・メディア研究科委員）

■ 分科会C. 初修外国語の教授法—中国語を中心に（通訳あり）

9:00-12:00 分科会 C-1「初修外国語としての中国語の授業法とテクニック」 会場：講義棟C棟 102 教室

教育学、教授法、外国語教育論に基づき、海外の非中国語、非中国文化圏の環境において、講師の数年の教育実践に即しながら、「何を教えるべきか」「どう教えるべきか」「どう勉強させるべきか」の三つのポイントに力点を置いて紹介する。

● 講師：姜 麗萍（北京語言大学・中国語研修学院・教授）/張 立波（東北大学高等教育開発推進センター・講師）
李 郁蕙（同・講師）

13:00-15:00 分科会 C-2「若手教員による模擬授業」 会場：同上

中国語の若手教員による模擬授業を実践し、教授法を議論する。

● 講師：姜 麗萍（北京語言大学・中国語研修学院・教授）/張 立波（東北大学高等教育開発推進センター・講師）
王 其莉（東北大学大学院文学研究科・専門研究員、東北芸術工科大学・中国語非常勤講師）